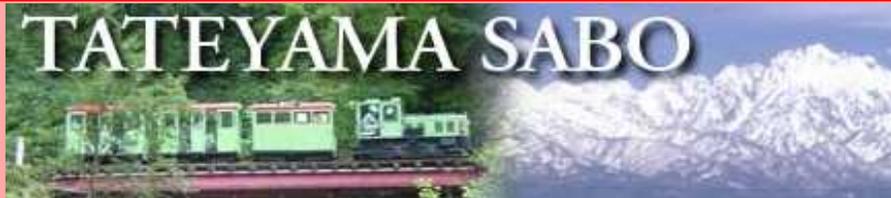
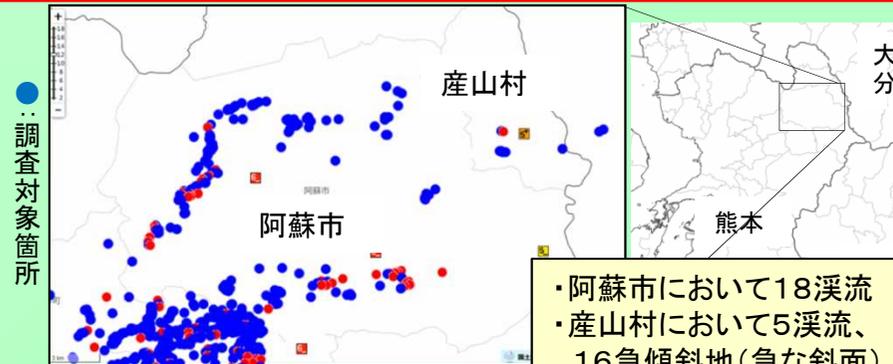


Vol. 2 H28.4.18 - 4.23 【地域のため安心安全のため】
被災状況を迅速に把握！TEC-FORCEを熊本へ派遣！



立山砂防事務所は、平成28年4月14日(木)に発生した熊本地震で被災した熊本県阿蘇市および同県産山村において、土砂災害等の被災状況調査を実施するため、4月18日(月)～4月23日(土)までの6日間、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の現地活動班4名(浅井班長、辻森、山本、村元班員)を派遣しました。

TEC-FORCEの活動内容は、土砂崩れ等が発生している災害現場に入り、どこが危険なのかを調査することです。この調査結果は、今後の復旧・復興作業を円滑に進め、地域の方々に一日も早く日常生活を取り戻していただくための基礎資料となるものです。



溪流調査の状況

現地での活動内容



九州技術事務所での出動式
(全国から約60名のTEC隊員)



調査位置の確認と特定



産山村^{おさこ}小迫地区では、民家背面の急傾斜地が崩れ、土砂が宅内に入り込んでいました。



調査隊はこの崩れの大きさや土砂の量等を調査し、今後の余震や降雨状況次第では再び崩壊する恐れがある危険な状態であると判定しました。